

# 「第 68 回 港南区の歴史散歩」

## 1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成 19 年 8 月 4 日 8:30~12:20

(2) コース: 小坪道・港南台・宮ヶ谷村・宮下村の今昔

JR港南台駅前 ~ 港南台駅前彫刻通り ~ つぐみ団地 (港南台4-5) ~ 横浜女子短大 ~ 港南台大久保公園 (港南台9-21) ~ 港南台高校 (港南台9-18) ~ 中野町公園 (栄区元大橋1-26) ~ 港南台西公園 (港南台4-30) ~ 小坪道 ~ 北見家石仏 (港南南1-30) ~ 日野川 (港南台1-1) ~ バス停日野 (解散)



注 1: 囲み数字 (例 = ) はスナップ写真に記載されている番号を示す。

## 2. 当日のスナップ

- ・ 港南台西公園の東西に2本の送電線鉄塔が立ち、この中間やや東よりに当たる地点で山林やそれを切り開いた台地の畑は、この尾根の一つにあり、舌状台地の先端からその基部に広がる、古墳時代後半期の集落です。
- ・ 松ヶ崎横穴古墳は、港南台高校敷地南側傾斜地の谷分とそのやや上部・沢に5穴の横穴墓が土砂に埋もれてはいますが現存しています。
- ・ 港南台西公園から小坪公園西側を通る道路が「相模越え」と言われる小坪道です。小坪道は鎌倉を基点として、野庭を通り武相国境を越え保土ヶ谷、東京湾沿岸近くを通り、関東南東部、常総方面へ向かう鎌倉下道の間道です。
- ・ 江戸時代寛文3年(1665)、当地は久世大和守廣之知行地となり以後久世氏の知行が続きます。今回の散策コースの字と戸数は明治初年(6年)でさえ・大久保0戸・四反田12戸・小坪3戸・大多良2戸・金井前4戸・四ッ切5戸・御所ヶ谷11戸でした。

### (1) 港南台駅前彫刻通り - JR 根岸線の両側

ア．港南台 4-32 より  
駅方面を見る

イ．写真中央が彫刻、彫刻の手  
前に説明のプレートがある

### (2) 港南台つぐみ団地

前方左側に横浜女子短期大学  
がある



### (3) 横浜女子短期大学

左側が横浜女子短期大学  
右側は、港南台つぐみ団地

### (4) 港南台大久保公園と公園内で見つけた縄文土器片

公園入口のところで縄文土器片をみつけた  
ア．港南台大久保公園 イ．縄文土器片



(5) 環状3号線 港南台9-16交差点より

ア.正面の森が港南台西公園  
右、小坪道 左、小山台方面



イ) 鍛冶ヶ谷方面を見る、中野町公園はここを下った所



(6) 相武国境の碑

中野町公園内にある  
相模と武蔵の境



(7) 相武国境の碑  
右側面に説明文  
がある



(8) 高圧線の立体交差

港南台4-30、正面の木立は西公園  
前面の道路は環状3号線



(9) 小坪道

港南台4-23付近、この先に  
北見家がある



(10) 日野南1-30 北見家

裏山に北見家の墓地がある  
以前この付近は水田だった



(11) 墓地内の石仏

廻国供養塔、以前  
安養寺の前にあった



(12) 港南台1-1付近の日野川

前面道路は舞岡・上郷線、昔  
左奥に「下馬橋」があった



以上